2017年度AO入試課題(経済学部・A方式)

◇ 課題の作成に当たっては別紙の注意事項に従い、作成してください。

課題

二つの課題文のうち、<u>一つを選択してください。</u>選択した課題文をよく読んでください。その後、その要約、近年の動向、あなたの考えなどの下記の設問に答えてください。

課題文 1 竹中・真鍋・小野著「ハーバード経済学 準備体操編 | pp.155-161

(第7章 日本は世界と戦えるか 7.1 グローバル化と自由貿易)

課題文 2 竹内淳彦・小田宏伸編著『日本経済地理読本(第9版)』, 2014年, pp.133-141

(第4章 第1節 北海道―地域経済の自立性を求めて)

課題文1

- (1) 課題文を 1.200 字以内に要約してください.
- (2) 内閣府が公表している「国民経済計算」から、日本の平成26年(2014年)度の財貨・サービスの輸出、財貨・サービスの輸入をそれぞれ調べて答えてください。また、調べた本あるいはホームページも同時に答えてください。

キーワード:国民経済計算確報 国内総生産勘定

(3) TPP の内容については、参加国間ではすでに大筋で合意しています。TPP が発効された場合に予想される効果について、あなたが重要だと思うものを 1 つ挙げ、その効果と日本に与える影響について自分の考えを 600 字以内でまとめてください。

課題文2

- (1) 課題文を 1,200 字以内に要約してください.
- (2) 農林水産省が公表している「食料自給率」から、平成26年(2014年)の日本のカロリーベースの自給率および生産額ベースの自給率をそれぞれ調べて答えてください。また、米、小麦、野菜の品目別自給率についても答えてください。

ただし、調べた本あるいはホームページを明記すること。

キーワード:農林水産省、食料自給率、品目別自給率

(3) 近年の北海道では、外国人観光客が増加傾向にあり、地域経済の発展に期待が寄せられています。 今後も外国人観光客を増加させるためにはどのような対策が必要だと思うか、あなたの考えとその 理由について 600 字以内にまとめてください。

作成上の注意事項

課題を作成するに当たっては以下の注意事項を守って作成してください。注意事項は裏面にもあります。

全体を通して

- 1. 作成に当たってはレポート用紙への記入は「手書き」でも「ワープロで作成したものを貼り付ける」のどちらでもかまいません。ワープロで作成した文書をプリントアウトして貼り付ける場合は、はがれないようにしっかりとのり付けしてください。
- 2. 課題に取り組む際には、インターネットや新聞・雑誌・本などで問題点について調べてください。 ただし、これらの文章を書き写した(盗作した)場合は厳重なペナルティを課します。あくまでも 自分の言葉で書いてください。

課題に関して

- 3. 問題点の説明は、高校の教科書やインターネット・新聞・雑誌・本などで問題点について調べてください。ただし、これらの文章を書き写した(盗作した)場合は厳重なペナルティを課します。できるだけ自分の言葉でまとめてください。
- 4. 自分の考えについては、どのようにすれば改善されるか、今後の日本経済はどのようなるのかといった事柄を自分の言葉でまとめてください。
- 5. (3) の課題については課題文を読んで、設問に対するあなたの考えを 600 字以内でまとめてください。この設問に対する解答は一つだけではありません。自由な発想であなたが考えたアイディアとその理由をまとめてください。
- 6. 課題を行うに当たって用いた資料を参考文献欄に必ず記入してください。記入の仕方は以下の通りです。

(新聞の場合)『北海道新聞』2015年12月31日付朝刊

(図書の場合) 平澤亨輔ほか著,「拓銀破綻後の北海道経済:地域再生と金融の役割」,

日本経済評論社.2008年

(教科書の場合)「政治・経済」, 三省堂

(HPの場合)環境省「環境経済成長ビジョン~チャレンジ 25 を通じた経済成長~」http://www.env.go.jp (ホームページアドレスは" ……...jp" までを記入すること)

課題に関する質問の受付

7. 課題に関して質問がある場合、一度だけ受け付けます。レポート課題について、教員への直接問い合わせたい場合は、第1 グループ(旭川、北見、帯広、釧路)は9 月7日(水)から9月9日(金)までの期間に、第2 グループ(函館、青森、本学)は9 月26日(月)から28日(水)までの期間に下記のメールアドレスから質問をしてください。なお、問い合わせ方法は、メールのみとします。件名欄に「AO 課題の質問」として、本文に質問内容を記入してください。

問い合せ先: asakawa@sgu.ac.jp

※経済学部の浅川が対応します。大学研究室のパソコンで使っているアドレスです。 携帯電話からのメールの場合、パソコンからのメール受信を拒否する設定をしてい ると、浅川からのメールを受信できませんので設定を変更してください。